

逗子市都市公園有料公園施設及び逗子市立体育館指定管理者候補選定委員会

第2回会議 概要

- 日 時 平成29年2月2日(木) 午後2時～午後4時
- 場 所 逗子立体育館会議室
- 出席委員 海老原修委員長、中川治彦副委員長、平田由紀子委員
- 欠席委員 井上浩子委員
- 指定管理者 (公財)逗子市体育協会
小泉事務局長、中川スポーツコミュニティーマネージャー兼逗子市立体育館館長
鈴木事務局次長兼逗子市立体育館副館長、石原職員
- 事務局 市民協働部 若菜部長
文化スポーツ課 阿万野課長 黒羽係長、鈴木主任、市村主事補
- 会議の公開・非公開 公開・一部非公開
- 非公開理由 情報公開条例第5条第2項第3号ウに該当
- 傍聴者数 0名
- 記録 市村主事補 平成29年2月2日作成

■次第

1 開 会

2 議 事

(1) 議事録の承認

(2) 逗子市都市公園有料公園施設指定管理者及び逗子市立体育館指定管理者の評価について

① ヒアリング

② 評価

3 その他

4 閉 会

■事前送付資料

逗子市都市公園有料公園施設指定管理者業務評価書

逗子市立体育館指定管理者業務評価書

■当日配付資料

資料1 第1回会議 議事録(案)

資料2-①逗子市都市公園有料公園施設指定管理者業務評価表(委員採点用)

資料2-②逗子市立体育館指定管理者業務評価表(委員採点用)

■概要

1 開 会

定数の確認、進行の説明

2 議 事

(委員長) 議題に入る前に、会議の公開・非公開について諮る。

本日の委員会では、一部の議題を除いて、個人情報等、特に秘すべき内容を取扱うものでな

いことから、本市の情報公開条例の規定により、会議の傍聴を認めることとする。なお、「議事(2)②評価」については、指定管理者評価における意思決定過程情報であり、公開することにより、自由かつ率直な意見交換が阻害され、適正な意思決定を著しく妨げる恐れがあるため、非公開としたいと思うが、このことについて、異議はないか。

(委員) (異議なし)

(委員長) 事務局は傍聴者の確認をお願いします。

(事務局) (傍聴者なし)

(委員長) 資料の確認をお願いします。

(事務局) (資料の確認)

(1) 議事録の承認

(委員長) 第一回会議の議事録について、この内容で承認するか。

(委員) (異議なし)

(委員長) 第一回会議の議事録は、この内容で確定とする。

(2) 逗子市都市公園有料公園施設指定管理者及び逗子市立体育館指定管理者の評価について

① ヒアリング

(委員長) 逗子市体育協会（以下、「体協」という。）の方は、自己紹介をお願いします。

(体協) (自己紹介)

(委員長) ヒアリングは公開で行う。進行については、各委員から質問をしてもらい一巡した後、二巡目の質問をしていただく。一緒に質問してもらっても構わない。

それでは、指定管理者業務評価表に基づき、これまでの取組みの成果を踏まえて、体協に自己評価理由等について説明してもらいたい。

(体協：中川) 説明に先立ち、資料の一部訂正をさせて頂く。(資料訂正)

平成 26 年度に始まった逗子市都市公園有料公園施設及び逗子市立体育館の指定管理は、初年度途中で、池子の森自然公園有料公園施設の管理が加わり、管理の範囲が大きく変わった。体協の職員は、アルバイト職員を含めて、当初の 6 名から約 40 名に増えて、組織の中での報告・連絡・相談体制を作ることも心掛けてきた。平成 28 年度からは、スローガン「笑顔のキャッチボールをあなたと!!」を掲げ、朝のミーティングで 5 項目を唱和している。また、平成 26 年度は、年度途中で利用区分の変更に伴う利用料金の改定もあり、利用者への影響を心配したが、利用者に納得をいただき、翌 27 年度には大きな問題もなく運営している。一部の子ども達が集団でルール違反やマナー違反を行うことや、施設の安全面を管理する必要があることから、市の財政協力を得て、今月末には防犯カメラを設置することとなった。

指定管理者としては、管理運営業務全体を振り返ると、評価点 3 の「目標が計画に則して達成できた」と考えている。平成 28 年度から、体育館のトレーニング室は委託せずに体協で直接運営することで、平成 27 年度より利用者が 2 割増加している。努力が数字に表れていると思う。また、市の健康相談で、アリーナが「未病センター」として位置付けられたことで、トレーニングを勧められた利用者が来館した。様々な事業を通して、市と連携しながら、健康増進に尽

くしていきたい。

(委員長) それでは、質問をお願いします。

(平田委員) 【共通】 1 管理業務の基本・(1) 管理業務の基本方針と執行体制について中の「未病センター」は、体協の提案書で提案していた月 1 回の「健康相談」のことか。また、現在は月に何回実施しているのか。

(体協：中川) その通りである。提案書では 1 回としていたが、現在は月 3 回実施している。

(平田委員) 【公園】 2 管理運営の基本・(3) 収支予算について。平成 26 年度の年度途中で池子の森自然公園の施設が加わることで、当初の事業計画・予算と様変わりし、収支が分かりづらくなっている。池子の森自然公園の平成 28 年、平成 29 年、平成 30 年の年度予算書が同一なのはなぜか。

(体協：中川) 平成 26 年 12 月に池子の森の管理を始める時には、利用状況が全く想定できなかったもので、同じものを添付するしかなかった。現在は、情報も蓄積し、収支状況が分かるようになったので、予算段階から分けて作成している。

(体協：鈴木) 逗子市都市公園有料公園施設については、第一運動公園、池子の森自然公園、小坪飯島プールに分けている。

(平田委員) 了解した。収支状況の評価のためには、そういう資料を提供してもらいたかった。

(中川委員) 2 管理運営の基本・(1) 危機管理体制に関する基本方針について中に、危機に対する事前の備えとして AED の設置と整備についてコメントしている。毎日の巡回で電池の確認をしているとあるが、いくつ設置していて、実際どのように確認しているのか。また、犯罪の未然防止のために施設の巡回パトロールを「毎日 2 回程度」としているが、1 回なのか、2 回なのか。

(体協：小泉) 現在備え付けている AED は、上部から電池残を確認する機種となっている、セコム社のものだ。巡回パトロールは、原則として 2 回実施しているが、施設で発生した緊急事態への対応等で、例外的に 1 回になることもある、という意味である。

(中川委員) 3 施設の運営に関する業務・(3) 利用者へのサービスの向上等への取り組みについて中の「ルール違反」について、具体的に状況と対応を説明してもらいたい。

(体協：中川) 一部の中学生等が、ごみを散らかしたり、大音量で音楽を流したり、観覧席から階下のメインアリーナ内に靴を投げ入れたり、唾を吐いたりしていた。当初は、注意しても聞き入れなかったが、対話を重ねることで、少しずつコミュニケーションが取れてきており、状況は以前より改善しているが、依然としてある。防犯カメラの設置しているところでは違反行為をしないことから、2 月中に設置することとなった。

違反行為をする中学生等は、スポーツをすることでストレスを発散できる。他の場所で出入りを止められて、行き場がない面もあることから、取り締まりということではなく、スポーツを通じた指導や育成の観点から、時には厳しく、時には優しく接している。

(中川委員) 了解した。青少年の育成を、よろしく願います。

(海老原委員長) 【共通】 1 管理業務の基本・(1) 管理業務の基本方針と執行体制について中で課題として公園有料施設の「テニスコートのナイター設備の導入」を挙げているが、説明してもらいたい。

(体協：小泉) テニスの競技人口が多いので、市民からナイター設備設置要望があったが、業者に見積もりを依頼したところ、2,000万円位と金額が高額であった。実施する場合は、協定上の修繕等の金額の切り分けで市の予算で実施することになるが、市の財政状況から、優先順位が劣後する。

(海老原委員長) テニスコートを利用したい人のピークが、夜間に集中することをどう考えるか。

(体協：小泉) 試験運用という形ではあるが、夏期の日没前の時間に、利用枠を一つ追加して利用できるようにしていて、利用者には好評である。これが定着するならば、利用時間を定めている条例改正をお願いしたい。

(海老原委員長) 課題の重要性という観点からは、利用者からの要望が多いから重要であるとは言えない。要望している人の特性を見て、また、この先利用を広げていきたい人を見ると、実施すべきことの優先順位が変わってくるのではないかと、ということ指摘したい。

【共通】2管理運営の基本・(1) 危機管理体制に関する基本方針について中に、「危機管理マニュアル」を策定し、体育協会会長を危機管理監督者としているが、本来は行政側をトップに持ってくるべきではないのか。説明してもらいたい。

(体協・小泉) このマニュアルは、緊急で作ったもので、管理運営している指定管理者のマニュアルとして作成している。大きな災害は想定していない。大規模災害は市が作成する危機管理マニュアルの中で対応することになる。

(平田委員) 【公園】(全体) 自己評価で2点つけているところがある。全体を通して4点がないので、総合評価では3点を下回ることになる。そういう評価を指定管理者が自己評価として行ったものを委員会の方で、それ以上の評価をするということは非常に困難である。どのように考えて、自己評価をしているのか。

(体協：小泉) 指定管理者として、非常に厳格に自己評価をしている。「できているか、できていないか」迷うときには、謙虚に「できてない」を選択し、自らを正している。密かに日本人としての謙譲の美德だと考えている。

(平田委員) そういうことであれば、4点に近い3点を付けたのはどの項目か、項目を挙げてもらいたい。

(体協：中川) 体育館で実施している自主事業については、参加する子どもも多く人気が高いので、この部分は評価していただきたい。

(中川委員) 【体育館】4スポーツ推進に関する業務・(2) 具体的な取組みについて中で月曜日の稼働率が低いとあるが、月1回の休館日が月曜日であるからか。稼働率の低い曜日や時間枠については、どのような対策を考えているのか。

(体協：鈴木) 体協だよりを発行し周知している。条例上の問題があるが、今後料金を改定できるようになれば、そういう利用者の少ない曜日や、夕方などの枠の利用料金を安くして提供できればよいと考えている。

(海老原委員長) 【共通】2管理運営の基本・(3) コンプライアンス、個人情報保護について中のコンプライアンスの自己評価において、記述が具体性に欠けていて、評価がしづらい。6名から40名にスタッフが増えて、具体的にどうしたのか、説明してもらいたい。

(体協：小泉) 全職員対象の研修の中で個人情報保護の研修を実施して、更に、具体的なことは、

業務の中で、名簿は窓口に出さず、鍵付ロッカーで保管するなど、OJTで実施し、日々注意を払っている。

(海老原委員長) USBの取り扱いはどうしているのか。

(体協：鈴木) USBは基本的には使用していない。インターネット接続に対するセキュリティ対策機器を使用して、ネットにアクセスする際には、サーバーを保護しており、ウィルス対策ソフトを各端末に設定する等の対応をしている。

(海老原委員長) そういうことを記述してもらおうと、分かりやすい。

(平田委員) 【体育館】2管理運営の基本(4) 収支予算についての中で支出削減の努力として、「4. 租税公課 簡易課税方式から一般へ変更したため課税が半分となった。」とあるが、説明してもらいたい。

(体協：鈴木) 指定管理者になる前の体育協会は企業規模が5千万円以下のため、簡易課税方式に該当するものであったが、指定管理者になってからは、収支共に拡大し、5千万円以上の一般の課税方式が適用されるようになった。しかし、その手続きをせずにいたため、租税公課として負担したというものである。

(平田委員) 本来、取扱額の変更は予想されるものである。初年度のミス、ということによろしいか。ミスを「削減の努力」とするのは、いかがなものかと思う。

(体協：鈴木) ご指摘のとおりである。

(中川委員) 体育館の開館を従来の9時から30分前倒して8時半開館として、1日の中の利用枠を1つ増やしたとのことであるが、各利用枠の利用時間が半時間短縮し、3時間から2時間半になり練習時間が減ってしまったとの声もあるようだが、そういう利用者にはどう対応しているのか。

(体協：中川) 確かに、8時半スタートは、主婦の利用者には早すぎるとの面もある。しかし、なるべく早く準備ができるように、器具を載せる台車を用意したり、ラウンジでの準備体操をお願いしたり、運用面でサポートできるように心掛けている。

(中川委員) レンタルロッカーの収入が増えたことは、良いことである。

(体協：中川) 収入面で助かっている。

(海老原委員) 平田委員も指摘されていたように、評価2点で自己評価しているところは気になる。評価3点で自己評価している項目のうち、4点に近いものがあれば、口頭で構わないので言ってもらいたい。評価する側の委員から、加点することは難しい。特に、負担が大きく増えた都市公園有料公園施設の管理業務で、そういう事業はないか。

(体協：中川) 【公園】2管理運営の基本(4) その他の取組みの中で、市民協力支援者及び協力団体について、達成できていないと自己評価している。今回の事業評価が、主として平成26年度、27年度に対するものだとして認識しているため、そのような自己評価にした。しかし、このことについては、平成28年度に動き出しているものもある。たとえば、各種競技団体に、一緒に自主事業をしないかと呼びかけて、逗子サッカー協会とは、平成29年度から始める予定で、現在、具体的な協議を進めている。また、市民との協力も、競技団体を通じた間接的なものだけでなく、体育協会に直接協力をしてもらう場面が増えている。

(海老原委員長) 他に力を入れた部分はあるか。

(体協：中川)【公園】4. スポーツ推進に関する業務 (2) 具体的な取組みの中でスポーツ推進の観点から力を入れようとしているところを述べている。

(体協：鈴木)【公園】5. 施設及び設備の維持管理業務に関して、有料公園施設の使い勝手が良くなるように努力した。400メートルトラック内のフィールドに芝の種を蒔くなどの工夫をした。3点を4点にしたい。

(海老原委員長) 芝については、冬芝を勧めたい。イングランドで使用しているし、小学校で芝生化したところは大変喜んでいて聞く。フィールド内は水没するのか。

(体協：鈴木) 400メートルトラックは調整池になっているため、大雨が降ると冠水する。芝は、Ⅲ種混合を蒔いた。養生中は良かったが、利用が始まると、中央部分の芝が育たない。

(中川委員) 外来種は入ってくるのか。入ってきたものには、どう対応しているのか。

(体協：鈴木) 入ってきているが、特に対応はしてない。一度冠水してしまうと、手が付けられないくらいフィールド内は泥が積もる。

(体協：中川) 公園については、提案以上のことをしていると自負している。スタッフが増える度に、研修が増え、取り扱う情報量が増え、失敗がないように危機感を持ってフォローし、大変だった。【体育館】4 スポーツ推進に関する業務 (1) スポーツ推進に関する業務に対する基本方針についての中で記述した「未病センター」については、市内に2か所あるのは県内で逗子市だけで、当初の協定にない事業であった。逗子市は高齢者が多いので、市としっかり連携し、責任をもって推進したいと思う。

(平田委員)【公園】3 施設の管理に関する業務 (3) 利用者へのサービス向上等の取組みについての中で、当初の提案書の中で、実施が不可能だと思っていた「バス停留所の名称変更」について、指定期間中に調整努力をしていたことは、真摯な態度として、前向きに評価したい。

【共通】1 管理業務の基本 (1) 管理業務の基本方針と執行体制について 2 これまでの取組みと成果の中で、「スポーツ教室参加中の託児」とあるが、説明してもらいたい。

(体協：中川) フィットネス教室に参加する母親へのサービスとして実施して好評であったが、コストに見合う料金に設定し直したところ、利用者が減ってしまった。現在は実施していない。今後はニーズにあわせた形を考えていきたい。

(中川委員) 体育館の指定管理業務は、総合的に3点より4点に近いように見受けられる。利用時間の短縮に対して、セッティングの工夫(台車利用等)をすることや、ルールに違反する青少年への対応等、努力が見られる。もっと指定管理者が自信を持っていいのではないかと思う。

設置している意見ボックス、実施したアンケート等から、良いヒントをもらって、業務の中で改善した部分はあるか。

(体協：中川) フィットネス教室について、主婦の方から要望があり、種目を追加した。平成26年度に先生を探して、平成27年度から開設したズンバやヨガ等である。先生を探すときも、アンケートの情報を活用している。

(海老原委員) 社会的弱者への対応について、特に工夫している点はあるか。子育て中の母親のほか、障がいのある方やLGBTなど、多様なニーズがあると思う。重篤なお年寄りも含まれる。コストベネフィット(費用対効果)、効率の問題、エクイップメント(用具)の問題もあるかと思うが、どう考えているか。

(体協：中川) 子育て中の母親を対象に、市のイベントに合わせて実施しているものもある。チャレンジデーでは、「バギーエクササイズ」、スポーツの祭典では、「親子ヨガ&おんぶエクササイズ」を実施して、参加者も増えている。

障がい者のある方等どなたでも参加できる「みんなでダンス」を平成26年度、平成27年度のチャレンジデーで実施し、現在、年間を通じて月に2・3回実施している。普段接している施設職員が、参加者のたくさんの笑顔が見られることを喜んでいて、メタボリック・シンドロームにも有効である。平成28年度は、これに加えて「みんなでソング」を実施した。声が出にくい人でも、マイクを通すと大きな声が出るのは、参加者にとって大きな発見だったようだ。ちょっとしたきっかけで発見があることを実感した。また、事業所の施設に戻ってから再現する等、こちらで体験したことを発信するようになってきていると聞いている。みんなでダンスは、白線を利用して実施しているが、その白線を施設に持ち帰っている。

利用者が、教室等に参加するだけでなく、その際「ボランティア募集」のポスターに目を留めて、花を植えるボランティアに参加してくれることも、嬉しく思っている。

(海老原委員) アメリカには「孤独なボーリング」という事例がある。いくらハードウェアを整備しても、そこにコミュニティーができなければ、人は孤独になってしまう。ソーシャルネットワークが重要だ。指導員を充実させる等、ソフト面でのバリアフリーを実現してもらっている。ハード面は3で、ソフト面では5にしてもいいのではないか。

最近、逗子の若い人が増えたと、市長から聞いた。環境の充実にスポーツの果たしている役割は大きいと思う。

(体協：小泉) 自己評価するにあたって、自信のあるものは4点としたが、それ以外は厳しく3点とした。

(委員長) 以上でヒアリングを終了する。

② 評 価 【非公開】

ヒアリングを踏まえ、各委員がそれぞれに採点したものを集計し、委員会としての評価点を検討した。検討の結果や、ヒアリングの質疑をもとに、報告書を作成することとした。報告書については、素案を作成したうえで、次回第3回委員会で検討する。

3 その他

(事務局) 第3回会議について、3月22日(水)14時～16時で開催する。場所は、市役所会議室で調整し後日詳細を連絡する。

4 閉 会

以上